活力あり人にやさしく、
自然と調和した上田市をめざして

ゆうゆう通信

2022年秋号
NO.22
（討議資料）
［編集・発行］
上田市議会議員・石合祐太
石合ゆうたを応援する会
上田市住吉 2863-10
☎090-1215-2511
FAX 55-3561
Mail ishiai.yuta.2015@gmail.com
ご意見やお困りごとをお寄せください。

9月市議会質問より

「香害」＝香りの害への対応を求める

「香害」、香りの害の問題が社会的な課題となっています。

化粧品や香水、合成洗剤、柔軟仕上げ剤などに含まれる合成香料、すなわち化学物質の臭いによって不快感や健康への影響が生じることを言います。

残香性の高い製品の普及によって、このような臭いによる相談が全国的にも増えており、その中でもとりわけ柔軟仕上げ剤の臭いに関する相談については、顕著な状況と聞きます。

近年では、この香害が原因となって、「化学物質過敏症」を発症する方もいます。

私は、これまでも化学物質過敏症に関することで一般質問を行ってきましたが、柔軟剤や強い香りにより心身に変調をきたし、日常生活に著しい支障が出る方がいらっしゃること、誰もが恒常的に強い香りにさらされることで香害の当事者になり得ることからこの問題について 9 月定例会で一般質問をしました。

○香害について柔軟剤を使わない洗濯など具体的な対応を周知する考えについて
⇒（答弁）まずは化学物質過敏症について市民周知をはかった上で関係部署で連携をとりたい。

○執務空間で香料使用を抑える対応や職員研修に香りの課題を触れることについて
⇒（答弁）対応をとらなくてはいけないと考える。執務空間で使用する洗剤や薬品等の使用にあたっては一定の配慮を求めたい。接遇については平成 22 年に作成した市職員接遇マニュアルも参考に全ての市民の皆様の満足度を上げるため、引き続き接遇の向上に努める。使用物品に関しても、庁内で情報を共有しながら配慮したい。

○小中学校入学時等に書く保健調査表に化学物質過敏症の兆候を記載する欄を設けることについて⇒（答弁）新たに化学物質過敏症の兆候の項目を設けるなど、保護者が不安な項目を学校へ伝えやすい保健調査票となるよう、養護教諭の意見を聞きながら検討を進めていく。

＃香害は公害
香害をなくす議員の会に参加しました。各地の仲間の皆さんと思いを通わせてこれからも取り組んでいきます。

９月定例会報告

条例案７件、決算認定13件、予算案３件、事件決議案５件、人事案件１件、意見書１件合計30件をすべて可決、認定、適任としました。

上田 道と川の駅について貸館機能を廃止する条例改正

上田 道と川の駅の適正な管理運営に向け、貸館機能を廃止することとし、指定管理者が行う業務について所要の改正を行いました。

また、職員に対する指導上の問題として市長の給料を１か月間５％減額する提案もされ、可決しました。

暮らしを守る公共交通支援事業

原油価格高騰により燃料費・動力費の上昇に対応するため、交通事業者に対し県と協調して支援を行うもの。

鉄道（しなの鉄道、上田電鉄）　1kwh あたり3円　（県で別途3円補助）

バス（上田バス、千曲バス他2者）　保有車両1台あたり20万円　（県で別途 20 万円補助）

タクシー（上田観光自動車他8者）　保有車両1台あたり5万円　（県で別途５万円補助）

学校給食が提供できない場合を想定して救給カレーを備蓄

新型コロナウイルス感染症等により給食の提供ができない場合を想定して、非常食として約1万3,000食を備蓄するための経費を計上しているが、商品の選定に当たっては、食育の観点から管理栄養士などの意見は参考にされたか質疑しました。

非常食の選定に当たっては、管理栄養士の意見を参考にして、全国学校栄養士協議会が推奨する救給カレーを備蓄するとの説明がありました。

また、救給カレーの賞味期限は約3年であるため、賞味期限内に使用しない見込みとなった場合は、防災教育の一環で防災給食として実際の献立に取り入れて消費した後、新たに買い足していく予定であるとのことでした。

令和３年度上田市一般会計決算特別委員会

３項目の附帯意見を附し認定

上田市議会では常任委員会の専門性を活かした決算審査を行うため、一般会計決算特別委員会に常任委員会単位の分科会を設け、審査を行っています。

私は今回は総務文教分科会の副会長を務めました。

委員会運営を補佐しつつ、質疑を行いました。

○市税の収納率は、合併以降最も高くなっているが、その要因と思われる令和3年10月から導入したキャッシュレス決済の導入効果はどうか。

（答弁）キャッシュレス決済の導入により、スマートフォン決済アプリ及びクレジットカードによる市税等の納付が可能となったことで、これまで以上に期限内かつ自主的に納付できるなど、より多様な納付環境が整備できた。

また、令和3年度の市税の納付実績は、スマートフォン決済アプリが792件、1,860万円余、クレジットカードが137件、530万円余であり、納付環境の多様化による効果が現れていると捉えている。

分科会審査を受け、下記３点を総務文教分科会より令和３年度決算を認定するにあたり附帯意見として附すことを委員総意で確認し、一般会計決算特別委員会全体会にて提案され、出席議員の総意で附帯意見を附すことを決定しました。（附帯意見次頁）

一般会計決算特別委員会で附した令和3年度決算に係る附帯意見

1 内部統制の整備について
令和3年度財政援助団体等監査において指摘された市指定管理施設の管理運営問題では、複数回に渡る所管課の変更等により事務担当者としての認識と責任感が欠如し、条例等に抵触する状態が長期に及んでいたことなどから、チェック体制など内部統制が確立されていないことが確認された。
執行機関における内部統制の実効性を高めるため、上田市監査委員の審査意見書及び第四次上田市行財政改革大綱アクションプログラムに登載されているとおり、内部統制の基本方針の策定とその体制整備を計画的に進めること。
※内部統制＝不祥事を防ぎ、業務の適正を確保するための組織体制

2 未利用土地の一元管理と利活用の促進について
上田市においては、人口減少とそれに伴う経済産業活動の縮小により、市税収入の大幅な伸びが期待できない中、高齢化の進行に伴う社会保障費の増加が見込まれている。このことにより、市財政は今後ますます厳しさを増していくことが予想されるとともに、更なる自主財源の確保が求められることとなる。
令和3年度においては未利用土地の調査及び売却等が進められたが、今後も継続して推進する必要があることから、一般会計、特別会計及び土地開発基金等が保有している土地の一元管理と活用方法等について他自治体の先進事例も参考としながら検討し、未利用土地の利活用を促進すること。

3 基金の活用について
上田市が有する基金の中には、平成18年の市町村合併以降に一度も取り崩したことのない基金があり、これらは基金本来の目的である事業への活用が十分になされていない状態である。
市民要望の具体化のために厳しい財政運営を強いられている一方で、長期間基金が活用されていないことは、財政運営上の課題であるとともに寄附者の意向にも沿わないことから、長期間活用されていない基金の活用方法について検討すること。

上田市長和町中学校組合議会　報告
令和３年度は学校施設整備計画策定、図書室 LED 化工事実施

議長を務めている上田市長和町中学校組合議会 9 月定例会において令和 3 年度決算審査、及び補正予算審議を行いました。依田窪南部中学校は 3 年度は令和 2 年 10 月 1 日時点で上田市 83 人、長和町 128 人、計 211 人の生徒の皆さんの学校における活動に取り組んできました。
令和 3 年度決算においては 1 億 2 千 100 万円余の歳出決算で、学校施設個別施設計画を策定したほか、図書室 LED 化工事の実施を行うなど事業を進めたことが報告され、審査の結果認定しました。
監査委員からは①校舎改修資金の確保、②教員住宅の管理、③物品等の管理の 3 点について審査意見が提出されました。学校事務にあたって重要な点ですので、真摯に受けとめていただき対応が図られるよう議会としても注視していきます。
令和 4 年度補正予算案については抗原検査キットの購入費、網戸の材料費などについて提案され、原案の通り可決しました。
また、議会閉会後には教頭先生より中学校の現状や部活動、教員の働き方などについて説明を受けました。

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書可決

9 月定例会では産業水道委員会より表記意見書が提出され、全会一致で可決しました。

森林整備や森林整備を担う人材の育成等に活用するために令和元年度に創設された森林環境譲与税の譲与基準が私有林人工林面積（10 分の 5）、林業就業者数（10 分の 2）、人口（10 分の 3）で配分が決定するルールとなっていることから人口の多い都市部への配分が多くなることや実際の森林整備には活用されずに基金に積み立てられているなどの問題があります。

上田市のように林業に係る財政需要の大きな自治体に手厚い配分がされるよう求める内容の意見書です。

総務文教委員会提案でも「地方財政の充実・強化に関する意見書」を近年は毎年度提出していますが（本年度は 6 月定例会で提出）、重要な財源に関わることですので今回の動きも大切なことと考えます。状況を見ながら、継続した取り組みとしていくことも必要です。

9 月定例会に提出された陳情 3 件に関する審査を行いました

9 月定例会には下記 3 件の陳情が提出されました。いずれも総務文教委員会に付託され、審査を行いました。

地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情⇒継続審査

長野県たばこ販売協同組合より提出された本陳情は委員間討議において「上田市が議員提案で制定した人生 100 年時代をよりよく生きる健康づくり条例と公共喫煙所増設についての整合性がとれるのか検討が必要」、「目的税ではないたばこ税を特定の目的のために活用できるのか検討が必要」との意見があり、継続審査となりました。

「少人数学級推進のための教育予算の確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める陳情⇒不採択

少人数学級推進のための教育予算確保、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情について上田市教職員組合より提出された本陳情は採決の結果、不採択となりました。

委員会で私と久保田由夫議員は採択に賛成を主張しました。

「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を 近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情⇒不採択

同じく上田市教職員組合より提出された本陳情は採決の結果、不採択となりました。

委員会で私と久保田由夫議員は採択に賛成を主張しました。

【活動報告】

南小学校の皆さんの議場見学会を広報広聴委員会でお受けしました。

児童の皆さんからは「市長と議長の違いは何？」、「会議ではどんなことを話し合っているの？」など活発に質問をしていただきました。

市政やまちづくりに少しでも関心を持っていただく機会になったならば良かったです。